

## グリーンスクール表彰校について（11校）

### （1）川西市立緑台（みどりだい）小学校

「エドヒガンを中心に水明台地区・黒川地区の自然を守ろう」



黒川地区の里山の自然に触れることで、自然に対する畏敬の念や命の大切さやつながり、自然の美しさに感動する心情を養いながら、環境の保全に取り組んでいる。

川西のもつ豊かさ（ひと・歴史・文化・自然等）を活用した活動を通して、子どもたちは命のすばらしさを実感するとともに、自然を保つことがいかに大切で大変かを学び、自然の恵みに感謝する心を育んでいる。

### （2）猪名川町立楊津（ようしん）小学校

「豊かな里山や清流猪名川を守ろう！～黒メダカ等救出大作戦～」

学校裏の里山での学習をする中で、里山保全が自然環境保全や動植物の生息と深く関連していることを知り、環境体験学習と関連づけた学習活動を行っている。また、児童は、里山保全・猪名川の保全・動植物の保全についても、昔からの生活の知恵や循環型の生活と関連づけながら学んでいる。

こうした活動を通して、自然環境を保全することが自分たちに任されていることに気づき、地域の住民との関わりながら、ふるさとを愛する心を育んでいる。



### （3）相生市立相生（あいおい）小学校

「ふるさとの自然」



海との関わりが深い地域で、地域の特産物『カキ』の生育が海の環境と関わっていることに気づかせる取組を行っている。また、地域の方々の協力で海の環境体験活動を通して、海の環境を守ることは、自分たちの住んでいる地域の環境を守ることもつながっていることを学んでいる。

こうした活動を通じて、海の環境を守るために自分たちができることを考え、豊かな自然の恵みに対する感謝の心や畏敬の念、ふるさとを大切に思う気持ちを育んでいる。

### （4）養父市立伊佐（いざ）小学校

「コウノトリとともに、命と暮らしを見つめ続ける伊佐っ子の育成」

地域の方々とともに、生き物調査や米作り体験を行い、地域に根ざした環境教育に取り組んでいる。コウノトリの繁殖の社会実験で学校近くに人工巣塔とケージが設置されたことを契機に、地域の特色を生かした環境教育として、全校でコウノトリとの共生について学習している。また、県立コウノ



トリ郷公園、市環境推進課、浅間農会、伊佐環境保全隊等の指導・支援を得て、広報誌やホームページでコウノトリの野生復帰に向けた様々な取組の様子を発信し、環境保全の必要性を国内外に訴えている。

こうした活動を通して、コウノトリを育む地域の方々の願いを知り、身の周りの環境を守ろうとする態度を育成している。

#### (5) 篠山市立大芋(おくも)小学校

「私たちの手で守ろう！大芋の自然を！」



地域の人々や関係団体の人々とともにオオムラサキの飼育、篠山伝統のお苗菊の栽培、ヤマブキの保全等の身近な環境を守る活動を行っている。さらに自分たちの町を調べ、昔と今の自然環境を比較して変化を知る取組を行い、自分たちが自然とともに生きていることを実感している。

こうした活動を通して、自然豊かな郷土に誇りを持ち、大切にしようとする心情、環境を守ろうとする態度を育てている。

#### (6) 淡路市立浦(うら)小学校

「命のつながりを知ろう - 自校の田畑を生かした特色ある学校づくり」

校地内に実習田畑があり、体験学習として米、野菜作りに取り組んでいる。米、野菜作りを体験することで、作物を栽培する苦労や工夫を学び、農作業の楽しさや厳しさを体験している。また、ため池や浦川の水質調査を行い、浦海岸の清掃に取り組むことで、川や田、海といった水でつながる環境を実感し、環境に対する意識が向上している。



こうした活動を通して、地域の自然環境が豊かな食・命を生み出していることを学ぶとともに、自然豊かな郷土を誇りに思い、自然の恵みに感謝する心情を育てている。

#### (7) 神戸市立櫛谷(はげたに)中学校

「K E M S から地域環境の保護へ」



K E M S (神戸市創設の環境への負荷を少なくする神戸環境マネジメントシステム)の推進校として、節電・節水・節ガス・節紙を行っている。また、校内で多くの植物を育てる活動や、稀少生物カワバタモロコを保護する活動にも取り組んでいる。また、ペットボトルキャップやプルタブ等の資源ゴミの回収を行って関係団体に送ることで、病気を防ぐワクチンや車椅子を贈る活動も行っている。さらに、地域のクリーン作戦や祭りにもボランティアを募り積極的に参加している。

こうした活動を通して、福祉教育や人権教育とも関連づけながら、地域の環境を大切にする心や思いやりの心を育てている。

(8) 西宮市立鳴尾南(なるおみなみ)中学校

「緑を育て、環境・福祉行事で、生徒の自尊感情をそだてよう！」

老人会、PTA等の地域の方々と連携しながら、全校体制で「えらぶゆり」を栽培する、鑑賞するという活動に継続して取り組んでいる。さらに、これらの連携を発展させ、地域のクリーン作戦、地域行事への参加、地域の高齢者に手紙を届ける活動にも取り組んでいる。

環境教育だけにとどまらず、こうした活動に生徒が主体的に取り組む、地域の方々に認められる経験をする中で、「自尊感情」やボランティア精神も育成している。



(9) 兵庫県立尼崎小田(あまがさきおだ)高等学校

「尼崎に青い海を取り戻す挑戦」



大学や地域との連携事業を取り入れ、地元港、尼崎運河の環境調査と実験に取り組む機会を多く設け、環境再生に取り組んでいる。また、瀬戸内海研究フォーラムへの参加など研究の取組内容や成果を地域で発表することで、生徒の研究内容を整理する力や発表力を育成するだけでなく、課題研究の成果を地域に還元している。

この研究の中での様々な経験を通して、自分の身近なこととして海や環境再生を考えようとする興味・関心や理解が高まり、環境適合型社会の構築に向けた人材の育成を図っている。

(10) 兵庫県立小野(おの)高等学校

「高校生ふるさと貢献活動を通じた環境教育と自然環境の調査」

小野市は自然環境に恵まれ希少生物(ヒメヒカゲ、シルビアシジミ、カワモズク等)を育む環境にある。商業科と国際経済科では、地元経済の活性化と自然環境の保護という課題を視野に入れた学習を実施し、学習している内容と社会状況を関連させた活動を行っている。また、学校全体で地域と連携した清掃活動を行い、地域環境の現状について学んでいる。



こうした地元と関わる活動を通して、地域の一員としての自覚を育み、地域環境に対する生徒の意識の向上を図っている。

(11) 兵庫県立北須磨(きたすま)高等学校

「持続可能な社会を実現するためのエネルギー環境教育」

エネルギー・環境教育の実践として、燃料電池や風力発電の実験や金環日食の観測から太陽が地球環境に与える影響の研究を行っている。また、持続可能な社会の実現のために、ドイツ、サモア等の外国や他地域の生徒とエネルギー環境問題について意見交換や討論を行い、



グローバルな視点で交流を図っている。

こうした取組を通して、様々な視点でエネルギーや環境について考えるなど、環境問題を自らの課題としてとらえて主体的に活動する生徒を育成している。

## 平成25年度グリーンスクール奨励賞表彰校の取組（5校）

優秀な取組を進めており、今後の取組が期待できる学校をグリーンスクール奨励賞として表彰しています。

### （1）西宮市立神原（かんばら）小学校

「神原土（がんばらど）をつくろう！&ひまわりプロジェクト」

総合的な学習の時間において、集めた落ち葉と近隣からいただいた米糠で「神原土」と名付けた腐葉土を作り、育てたひまわりの種と一緒に、地域、そして自分が卒園した保育園や幼稚園へ届ける活動を行っている。その取組の中で、落ち葉が発酵する仕組みや、腐葉土が食物連鎖、環境保全に重要な役割を果たしていることを学んでいる。



こうした取組を通して、児童の自然環境への感謝の念を育み、地域社会と主体的に関わっていくことでそれぞれの児童の自己有用感も高めている。

### （2）佐用町立利神（りかん）小学校

「佐用川のオオサンショウウオ「キセキ」との出会いから学ぶ」



佐用川のオオサンショウウオの学習や護岸工事に関わることで、地元利神の自然に誇りを持ち、環境保全の大切さと自然を愛する心を養っている。また、地域のクリーンセンター見学後は、ゴミを生み出す自分たちの生活を見つめ直し、ゴミ減量でオオサンショウウオ等の地域の自然を守ることができることを学んでいる。

こうした活動を通して、郷土の自然を愛している人の生き方に触れ、郷土を愛する心情と環境を理解し大切にすることを学んでいる。

### （3）洲本市立鮎原（あいはら）小学校

「学校と地域が連携し、ふるさと鮎原を愛する心を育む環境教育」

学校付近の都志川の水生生物を捕獲、観察することで、水質や河川周辺の環境について興味・関心を持たせ、身近な環境問題に取り組んでいる。また、水田において、地元の方々と交流しながら、アイガモ農法（有機農法）による米作りを体験するとともに、従来農法の田

の水生物との比較から農法の効果を調べている。

こうした活動を通して、自然の仕組みや命の大切さ、地域の環境に与える影響について学ぶとともに、ふるさとを愛し、自然を大切にしていこうとする態度を育てている。



#### (4) 豊岡市立港(みなと)中学校

「ふれあいを大切にし、私たちのふるさとの浜をきれいにしよう」



生徒会が企画し、地区の生徒・児童・地域の人々が連携して、地元の浜の清掃活動を32年間継続して行っている。また、この活動の情報を発信することで、円山川の上流域の人々の環境に対する意識の高揚にも繋がっている。

こうした活動を通して、環境保全の意識を高めるとともに、郷土に誇りをもち郷土を愛する心、奉仕の心情を育てている。

#### (5) 洲本市立安乎(あいが)中学校

「環境学習を深めるとともに環境保護活動に取り組む」

学校が中心となり、地域や家庭と連携して近隣の川の水生物と水質の調査等の環境学習や資源ゴミの回収、浜の清掃活動などの環境保全活動に取り組み、多くの方々が環境学習や環境保全活動に関わっている。また、学校花壇の土づくり、植物の栽培を生徒が主体的に行っている。

こうした活動を通して、地域の豊かな自然を守る大切さを知り、大きな視野で、地域において行動できる生徒を育成している。

